

令和2年度の箕面市の防災の取組について

◆経緯

昨年度から整備を進めている防災スピーカーの更新整備及び、市職員及び地区防災委員会役員の防災士の資格取得を引き続き進めます。（令和元年度200名登録）また、市内の浸水被害が危惧され、かつ通行や避難に支障が生じやすい場所の降雨状況等をリアルタイムに把握するため、新たにネットワークカメラを整備します。

◆内容

- 1 既存の防災スピーカーを高性能型防災スピーカーに更新整備します。（昨年度から継続）
- 2 昨年に引き続き市職員及び地区防災委員会役員 約70人の防災士資格取得を進めます。
- 3 市内8カ所のアンダーパス等にネットワークカメラを設置します。

◆効果

- 1 高性能型防災スピーカー
防災情報（避難情報など）の伝達強化
- 2 防災士の資格取得
（職員）
職場内で平時からの知識共有や、職場における防災意識の向上
（地区防災委員会役員）
地域防災の牽引役として力を発揮
- 3 ネットワークカメラ
市内の降雨状況などをリアルタイムで把握することが可能



（既設のネットワークカメラ）